

## 振り返りシート

お名前( )

### 1 今回の講演で学んだこと

まず、学習指導要領に則った言葉遣いを見直す必要性を感じました。美術であれば、用具の名前は正式なものがあるのに、子どもに分かり易いよう、平易な言葉遣いに替えてしまおうとします。学習指導要領、教科書を見直し、適切な表現を生徒も使いこなせるよう、繰り返し使いたいと思いました。

屋中先生に入っていたたのたのカラーでの活動では、今日の授業が今後学ぶにどう生きたか考えました。一時間で扱うには盛り沢山の内容でしたね。教科書でサッと扱うよりブックにはなれたと思います。時数との折り合いをうまくかき学習効果を高めるには、重くじっくり扱う部分と、それにより勢いをつけて進められた場面を想定し、単元計画を練り直す必要があったのではないかと感じます。カラーで発表の時申し込んだか、作品構想の前段階でインターネット上のどこか作品によさを感じたか、じっくり考え交流させたところ、構想が驚くほどスムーズに進み、結果、予定通りの時数で題材を終えたことかできました。題材計画により流れかできたと思います。11月に学年で見たいなと授業では、前時とのつながりや、次か季しみにするようになりしを任せていただきます。

中嶋先生、授業改善のヒントもありがとうございました。

### 2 マイアクション

1にもありますが、正しい言葉遣いを学び直し、子ども達も使うことかできましたようにしよう、繰り返し使いたいです。ありさかには、美術はあつあつ5時間か35時間のため、全てにおいて丁寧に考えることかできません。また、カラーで発表で胡る先生か仰る授業規律にかいて引か鏡を丁寧に取ります。

## 振り返りシート

お名前 ( )

### 1 今回の講演で学んだこと

のりしろを考えたことで、単元計画と意識が次のように変わったと思います。

まず1点目に、より授業内容のつながりを意識するようになったことです。以前ご講演いたした時も授業は系統しなごを例に分かりやすく教えていただきました。さらに、流動的に内容を前時に組み込むこともできると思われました。

2点目に、ワワワする授業をすすめという視点で、より単元計画を考えるようになったことです。のりしろでどんなことをすすめ、生徒が次時に学びたいという気持ちになるのかを意識したいと思います。そのためにものりしろは、日常生活にいかにつなげることができるかが大切であると感じました。

今日のご講演の中のお話でもありましたが、自分がつけた授業をすることが何れ大切という言葉が心に残っています。

納得する授業ができたいので、今日学んだことをしっかりと理解し、授業改善に取り組んでいきたいと思ひます。

全体も大切にしつつ、個別最適を学ぶという視点も大切にしつつ、単元計画からしっかりと考えていくと思ひました。

### 2 マイアクション

今まで以上に授業のつながりを意識するため、単元計画においてのりしろをぬくこと。同様に単元のゴールを常に意識し、生徒の具体的な姿まできちんと伝えておくこと。

また、本時のぬらいを達成するためのふりかえりはこゆからも大切にしたいと思ひます。

## 振り返りシート

お名前 ( )

### 1 今回の講演で学んだこと

今回の講演で「のりしろ」について考えたことで今までの自分の授業が単に一時間の授業を並べただけであると気づくことができた。一つ一つの授業に余裕とつながりを持たせることにより、生徒がもっと知りたいと探究する心を育てることができると知った。つながりを持たせる為に次時への伏線を用意したり、課題を与えることが効果的であると学んだ。実践していきたい。

単元計画に関しては前回書いたものに「のりしろ」を作ったが短い時間で生徒がワクワクするような伏線・課題を考えることができなかった。これはそもそも前回作った授業の流れがゴールからの逆算ではなくただ後ろから作っただけのものだったのだとも考えた。授業計画を立てる際は、生徒のゴールの姿をイメージしながら、且つ「のりしろ」も考えて実践してみようと思う。

意識として、授業をここまで絶対進めたいという考え自体が余裕のない授業を作っていたと気づくことができ、時間の制限はあるものの、余裕やつながりを持たせたり結果的に授業がスムーズに進み、詰め詰めの計画と変わらないのではないかと思った。私はスライドを使って授業するが、一時間ずつ作るのではなく一単元を通して作ってみようと思う。

### 2 マイアクション

上にも書いたが、私は全くのりしろのある授業ができているので、そこを意識したい。また講演中に中嶋先生が時間を示して指示を出されていく実際に使ってみると生徒の聴く姿勢や集中力が高まった。こういったテクニックをもっと増やす為に様々な授業を参観し、盗んで活用したい。さらに、担任として教室環境の整備・ルールの徹底に取り組みようと思う。

## 振り返りシート

お名前 ( )

### 1 今回の講演で学んだこと

残りの少ない時間だけの参加だけでも、グループ協議はどれも有意義な時間でした。それ楽しに参加できました。

今回の講演で学んだことは、前時と本時のつぼがりです。

体育の授業は、実技なので毎時間のつぼがりがあって技の習得による。それがゲームに生かされるようになる。実技についてはごく自然に展開していくのかわりません。いつも意識してつぼがるのに計画を立てています。自分自身の授業の中でいつも困っているのが保健の授業です。似たような単元は一つかめるのですが、毎回一つの授業でとまってしまうのが課題です。

昨年、中山先生、胡子先生に授業改善のことや指導案の書き方を教えていただくことで、毎時間のつぼがりや保健の授業を考えたようになります。保健の授業は、生徒自身の身近なことで考えることができる、おもしろいと思ってもらいたいと思っ、指導案や学習指導要領を見て構成し単元もあります。今年はさらに、昨年度の反省を生かし、前時と本時のつぼがりの部分で、家でみつけてきた宿題を考えています。

今回の講演もお話しされたので、私自身がとても楽しめました。授業は教える立場が楽しいと思うことが生徒を楽しませる(ワクワク)ことだと思います。

### 2 マイアクション

・授業の立場による時間の確保、そのためには毎時間のルーティンは継続していく。(体育は準備運動・主運動等、復習)(保健:復習を入れる)

・授業規律の徹底を心がける。(ルール作り)

・グループ活動を取り入れたら個人で考える時間の確保  
(自分の言葉で表現する、自分のことばで振り返りをする)

・自分の言葉で語らせる

## 振り返りシート

お名前 ( )

### 1 今回の講演で学んだこと

今回の授業をおこなう上で、いつも以上に、単元の流れを意識した。最終ゴールは何にねるのか、そのために、最初の導入で何をすればよいのか、単元の中にも、99くの章があるため、どのような流れにすればよいのか、たくさん考えた。しかし、講演の中で出てきた、「のりしろ」がまたたく、意識できていなかったことを実感した。大きな流ればかりを意識してしまい、1時間、1時間のつながりはおろそかになっていた。生徒が次の授業が楽しいと思えるためには、終わり方に工夫が必要なので、今回の授業で考えると、仮説をしっかりと考える時間と、仮説をたしかめる時間で充たれてもよかった。また、授業の最後で、「家や学校の階段スリッパをおいて、確認してみよう」などの言葉があってもよかったかもしれない。単元の流れをより考えるきっかけにもなり、今後の授業では、次につなぐ意識や生徒目線になり、受けたいと思えるような授業づくりをおこなっていきたい。

### 2 マイアクション

単元を考える際に、最初と最後のゴールは意識をすることが、さらに、1時間ごとのつながりも大切にしたい。また、ICT機器を使用する場面での、生徒の動きを確認し、発表者が話しているときはタブレットはとじることや、グループでの交流では、キーボードを立てず、平面で見ることなどを徹底したい。

名前 ( )

1 今回の講演で学んだこと

「のりしろ」は教科書にもヒントあり〜やはり教科書は大切!!〜  
 今回は のりしろ というものを考えていきました。前回の講演でも、授業は紙しばいのようにストーリーが繋がっているとおっしゃっていましたが、それがのりしろによってつながっているんだと思います。数学科で「のりしろ」を考えていくとき、実は教科書にそれが示されています。例えば、1次方程式の単元で方程式の解き方→方程式の利用とすすむのですが、解説の最終ページに『次の課題へ! 1次方程式は、どんなところで使えるのかな?』とあります。教科書を読みこめは読みこめ、ほとんどの見通しはどのようなのか、とか、小単元と小単元とはどのようにつなげていくのか、つながっていくのかが見えてきます。紙媒体で書かれているものを、授業者がいかに分析し、どう提示、演出していくかが肝だと考えます。

中山鳥先生は『学習指導要領に基づいて』とおっしゃいます。教科書は学習指導要領に基づき作成されている図書です。他の教科は分かりませんが(教科書は〇〇の教科で)は使いにくいという声があるので、少なくとも数学では大切なものです。昔の私は教科書をそこまで重要視

いっしょに  
 今回  
 発見  
 はは!!  
 (中山鳥  
 先生の  
 講演  
 と紙  
 教科書  
 見直し)

2. マイアクション

これまで教科書の『次の課題へ!』まで、気をとくはれていませんでした(私かのりしろだと考える部分) 教材研究をする際は、なぜ、ここにこれが示されているんだろ? と考えながらすすめていきます。そしてそこからどう授業におこすのかを考え、実践していきます。

教科書

たとはしていませんでした。数年前からその  
考えが変わってきて、中山島先生の講演で、そのことが  
さらに明確になりました。

これから教科書を読みこみ授業を行っていく  
中山島先生、この度はお忙しい中、本校においで  
いただきありがとうございました。

## 振り返りシート

お名前 (

)

### 1 今回の講演で学んだこと

講演前までは、単元計画を立てることが精いっぱいでした。7月の講演会を終え、カードにして単元計画を整理する中で、山場をどこにするのかとても悩みました。しかし、1つの単元をつないでいくためには、本時と次時をつなぐ「まとめ」や「生徒にハテナを投げかけて終わる」ことが積み重なることで、山場につながるのではないかと感じました。授業では、毎時間の振り返りを生徒が記述で「初めて知ったこと」「びっくりしたこと」「疑問に思ったこと」などを残しています。今は、各個人での振り返りにとどまっているので、ペア同士で振り返りや意見の共有をすることで、生徒間で次時につながる疑問へ発展するのではないかと感じました。日頃から、単元目標が単なるかざりになることのないよう、本時の目標だけでなく、単元目標にもとった学習の振り返りが必要だと感じています。次時が気になる、ワクワクする授業になるよう、実生活との関連や、他教科とのつながりを視野に入れ「のりしろ」を考えていこうと思います。

### 2 マイアクション

明確な単元計画を立てるために、ゴールから逆算して構成をしていきます。平たんなものではなく、山場を設け、生徒の思考をゆさぶります。そのために、生徒の実態に合ったテーマを設定し、比較する、共通点を見つける、新たな視点に出会う等の、自分事として考えることができるようにします。

中山鳥先生 ありがとうございます。



## 振り返りシート

お名前 ( )

### 1 今回の講演で学んだこと

まず、「一緒」というコトバのあいまいさについて、少し意識が低いと感じました。数学の用語の中では「等しい」ということであるが、それを生徒へ伝えられていなかったなら大変なことと思います。(後日、授業にて「等しい」というコトバについて確認しました。)そのようなところにも、単元を練る中で想定しておかなければならないという気づきを得られてよかったです。この先証明の内容に入っていきますが、そこで使われるコトバについても、もう一度注目しておこうと思いました。あまり十分な準備ができていなかったということになります。今後「論証する場面が多数ある」定義されたコトバ、正式な名称についてもう一度確認して説明する授業から説明を身につせぬ授業を展開していこうと思います。特に、論述することに慣れてもらえるようにスモールステップで学習する環境をつくり上げながら、リアルな生徒の反応以外の伏線を持たせることや自発的な行動を起こせられる仕組みをつくる工夫をしたいと思っています。また、のりしろを意識して、1つ1つの授業をつなげられるように、橋をつくるイメージを手立てを考えていこうと思います。

### 2 マイアクション

単元を断面についてのみ接触させるのではなく、つながりをイメージできるように、前時と後時のつながりを想定する。物語が頭の中に残るように、学習者が主人公になれるように納得のできるかかわりの中で、よくよく自分の授業に足りないものを補おうと思います。特に前提条件をよく読み取り、活用できるように論じる、の定義を学んでおく。

## 振り返りシート

お名前 ( )

### 1 今回の講演で学んだこと

今回の講演を通して、単元計画を立てる時の考え方が、少し柔軟になったと感じています。それは、講演の中でのグループワークを通して、「のりしろ」を効果的に使うことの大切さを学んだからです。私自身の授業研究は、これから先を予定しているのですが、また漠然と単元計画を考えていただけの状態でした。でも、生徒の実態に応じて、1時間ごとに、次時に向けての動機づけとしての「のりしろ」を効果的に使えることを知り、「音楽科の授業では、どのような『のりしろ』が効果的なのか」を考えました。ここで他の教科の先生方とも交流したから、「のりしろ」の具体的な言葉かけについて考えることができたことも、大変勉強になりました。他教科の「のりしろ」の内容も参考にしながら、音楽科の授業では「～できるようにする」「～すれば～する」など、ゴールのイメージをより具体的に想像することができました。また、単元(題材)計画のゴールまでの計画を、「のりしろ」をつなぎとして、もっと柔軟に考え、生徒の実態に応じて、様々なかたちで動機づけができるのではないかと感じました。そうすることによって、生徒がより主体的に課題に取り組むことができるようになると思います。このような柔軟な考え方を得ることができたことが、今回の講演で学んだことだと思います。

### 2 マイアクション

授業中はもちろんですが、次時に向けての予告や問いかけをその時の具体的な言葉かけを、今までも生徒の目線を考えていると思います。「その言葉で、生徒が『かえらば』と思うのか」、常に生徒の立場に立って、授業の計画・実践を行っていくことが、改めて大切だと実感しました。題材ごとの目標(ゴール)の設定も、適切なものなのか、日々検討していきたいと思っています。

## 振り返りシート

お名前 ( )

### 1 今回の講演で学んだこと

今回の講演で「単元計画は「のりしろ」が決め手」と演題があって、どうしたことなんでしょうか？と  
思っていました。講演を聞いて、そういうこと  
だったのか！と感動した自分がいました。単元と  
単元の間に、生徒の興味を引くような課題を  
設定することで、次の授業へのワクワク感を持た  
せる意味があると知り、自分の単元計画にも少しずつ  
取り入れていこうと思いました。例えば、今年度は  
1年生でナスを栽培したのであるが、栽培前に  
「ナスを1本買ってもらって、栽培のイメージをふくらませる」  
といった課題を出せば、生徒の「こんなナスに育て  
てほしい」といったワクワク感やモチベーションを  
引き出せるのではないかなと思いました。いきなり  
全ての単元で「のりしろ」を設定するのは難しい  
と思うので、少しずつ生徒の実態もふまえてなが  
ら単元計画も立てていこうと思いました。

中山島先生、ありがとうございました。

### 2 マイアクション

まず、生徒の実態を把握する必要があるので、  
単元前のアレケートなどで、どんなことに興味があるのか、  
どんなことにワクワク感やモチベーションを感じているのか  
といったことを知る必要があると思いました。そこから  
生徒の主体的な学びを促す方法を考えていきたいと  
思います。